

# 建学の精神

## 「し至せ誠い奉ほ仕う」し

「誠実な心で、子どもを含む様々な人に接するとともに、自らの学問や技術を伸長させることで芸術や教養、教育・保育の力を養い、これをもって社会と文化に貢献する」

### ■大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、芸術に関する専門の学術技芸及び人間発達に関する専門的知識を教授研究し、並びに広範な展望の下、歴史及び社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化及び人間発達の創造発展に寄与しうる人材を養成することを目的とする。

### ■大学の教育理念と目標

本学は、知性と感性のバランスのとれた教育理念に基づき、分野横断的取組みによる新たな価値の創造を実現する。キャリア教育の取組みを強化し、自治体や企業との連携を進展させ、芸術による教育・研究を発展させ地域・社会に貢献する。

### ■各学部の目的

#### 1. 芸術学部の目的

音楽領域、舞台芸術領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する。

#### 2. 教育学部の目的

初等教育・保育にかかわる理論ならびに技術の教授を通して、豊かな感性を備え、真に子どもの成長・発達を支えることのできる教育者・保育者を養成する。

### ■各学部の教育理念と目標

#### 1. 芸術学部の教育理念と目標

芸術に関する専門の学術技芸を教授し、歴史的・社会的視点にたった芸術教育を施すことにより、地域・社会に貢献しうる人格の形成を目標とする。

#### 2. 教育学部の教育理念と目標

教育・保育の理論とスキルを学び、実習等の経験を積み上げ、芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、子どもの成長・発達を支える力を獲得し、地域に貢献できる小学校・幼稚園教諭、保育士を育てる。

# アドミッション・ポリシー

芸術学部 芸術学科 アドミッション・ポリシー	
<p>芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。</p>	
求める学生像	<p>〔音楽領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること。</li> </ul> <p>〔舞台芸術領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること。</li> </ul> <p>〔美術領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術に対する関心や探求心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、それらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。</li> </ul> <p>〔デザイン領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインに対する関心や探求心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。</li> </ul> <p>〔芸術教養領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術学部を設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること。</li> </ul>
入学までに求める学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校または中等教育学校の教育内容を幅広く学び得ており、かつ、専攻する分野については好奇心と意欲があること</li> <li>主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること</li> <li>自分の意見や主張したい事柄を自己の表現で的確に表現できること</li> </ul>
入学者選抜の基本方針	<p>〔総合型選抜〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術や知識に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。</li> </ul> <p>〔学校推薦型選抜〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在卒学校の推薦に基づき、課題や実技および面接や書類審査等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。</li> </ul> <p>〔一般選抜〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実技や作品などを通じて総合的に評価を行います。また、学科試験を課すものについては、科目の学力を通じて各領域における学びの観点から総合的に評価を行います。</li> </ul> <p>〔総合型選抜（特別枠）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、実技や作品、小論文などを通じて総合的に評価を行います。</li> </ul>

教育学部 子ども学科 アドミッション・ポリシー	
<p>高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。</p>	
求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること。</li> <li>将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること。</li> <li>協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身につけていること。</li> <li>議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること。</li> </ul>
入学までに求める学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校または中等教育学校の教育内容を幅広く学び得ていること</li> <li>主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること</li> <li>自分の意見や主張したい事柄を自分の言葉で論理的に表現できること</li> <li>探究的な学習やボランティアを通じて、子どもたちをはじめとする多様な人々とのコミュニケーションを経験していること</li> </ul>
入学者選抜の基本方針	<p>〔総合型選抜〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。</li> </ul> <p>〔学校推薦型選抜〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在卒学校の推薦に基づき、面接や書類等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。</li> </ul> <p>〔一般選抜〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育学部が求める科目の学力について、個別筆記試験や全国一斉の共同試験、また英語については、指定の民間資格・検定結果などを活用して評価を行います。また「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」では、教育学部の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を主に大学入学共通テストの結果により総合的に評価します。</li> </ul> <p>〔総合型選抜（特別枠）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、面接や小論文を通じて総合的に評価を行います。</li> </ul>

## 志願者・受験者の個人情報について

出願時に提供された志願者個人情報(氏名、住所等)は、本学における出願処理、出願内容確認等の場合の連絡、入学試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関連書類の送付、合格者の入学後の教務・学生支援関連事務(学籍や健康管理、奨学金申請等)や授業料等に関する業務、および入学試験の改善や志望動向調査・研究を行うために利用いたします。

なお、出願内容について不備等があった場合、その確認や訂正・補完を速やかに行っていただく便宜から、志願者本人が本学を受験されること、および志願者自身の出願内容について不備等があったことを志願者の保護者等または志願者の出身(所属)学校に問い合わせる場合があります。

上記の業務は、その一部を名古屋芸術大学より当該業務の委託を受けた会社(以下、「受託会社」といいます。)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託会社に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがありますので、予めご了承ください。

また、本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

以上のことについて、本学への出願手続きを完了した時点で、志願者は上記事項を理解し、同意いただいたものとみなします。

## 障がいや疾病のある受験者への特別配慮

本学に入学を志願する者で、障がいや疾病を有する等、受験上および修学上、特別な配慮を必要とする場合は、必ず受験しようとする入試区分試験日の3週間前までに、申請書(任意の様式)および「医師の診断書」、「障がい者手帳」等のコピーを本学広報部学生募集チームまで提出してください。

なお、必要な場合には、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身(所属)学校関係者等との面談を行います。

(申請書(任意の様式)記載事項)

氏名、住所、電話番号、志望学部・学科(領域・コース)名、障がいや疾病の種類、受験および修学に特別な配慮を希望する内容、その他参考となる事項

## 入学試験の成績開示について

名古屋芸術大学では、入学試験受験者本人から請求があった場合に限り、本人が受験した入学試験の結果を開示します。開示を希望される場合は、郵送のみの受付となりますので、以下の要領でお申し込みください。

1. 開示対象の試験区分と開示科目	総合型選抜科目選択型入試、一般推薦入試:基礎学力検査の得点 一般入試:学科試験における科目別得点 大学入学共通テスト利用入試:換算後の科目別得点 「小論文」の得点(入試区分は問わない)
2. 開示申請期間	2027/4/5(月)~5/7(金) [最終日消印有効]
3. 開示方法	開示請求のあったものについて、一括処理後、郵送で出願時記載の住所に送付します。(2027年5月末予定)。転居等により出願時記載の住所と異なる場合は、現住所の住民票の写しを同封してください。
4. 申請者	受験者本人に限ります(代理人申請は不可)。本人確認のため、身分を証明する書類のコピー <sup>*</sup> を同封してください。 ※氏名と生年月日が示されている書類(例:健康保険証、各種免許証、学生証など) ・提示していただいた個人情報は申請者の本人確認の目的にのみ使用します。
5. 申込方法	次の書類を任意の封筒に入れ、表面に「入学試験成績開示請求」と朱書きのうえ、「簡易書留」にて送付してください。 ●開示を希望する次の項目を明記した書類(任意様式) ①試験区分および受験番号 ②受験者の氏名、住所および電話番号 ●返信用封筒(長形3号 12cm×23.5cm) ※簡易書留料金含む郵便料金の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入してください。 ●住民票の写し ※送付先が出願時記載の住所と異なる場合に必ず同封してください。
6. 書類の送付先・問い合わせ先	〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 名古屋芸術大学広報部学生募集チーム TEL 0568-24-0318